

子どもの音楽行動に関する報告 - 小学校5・6年生の場合 -

杉 山 知 子

美作大学・美作大学短期大学部紀要（通巻第52号抜刷）

報告・資料

子どもの音楽行動に関する報告 －小学校5・6年生の場合－ A Report on Music Behavior of School Children

杉 山 知 子

I. はじめに

子どもは日常生活の中で、歌を歌ったり、楽器を演奏したり、あるいは音楽を聴いたり、音楽を作ったりするなどの音楽行動をどの程度行っているのだろうか。とくに、学校以外の場所における音楽行動はどのようなになっているのだろうか。

このような子どもの音楽行動について、過去2回にわたり同一小学校5・6年生を対象として調査を行ってきた^{1) 2)}。その結果、歌を歌う・楽器を演奏する、というような音楽表現行動よりも、テレビやCDなどの音楽を聴く聴取行動の方が多くことが明らかとなった。また、5年生と6年生という学年の差はあまり見られないが、男女別にするとその差は大きいことが判明した。すなわち、男子よりも女子の方がすべての音楽行動において活発であることがわかった。さらに、時代による変化が見られ、男子は1回目よりも2回目の調査において音楽行動が全体的に活発化している傾向がみられた。

現在、前回の調査から6年が経過し、その間に世の中の状況はあらゆる点で激変してきた。経済面においては、長引く不況により子どもを取り巻く家庭の状況は変化していると考えられる。また、教育面においては、学校教育で週5日制が導入され、それまでに比べて、子どもが学校以外の場所にいる時間が長くなっている。このような環境の変化や時代の流れの中で、子どもの音楽行動はどのようなになっているのだろうか。これまでと同じなのだろうか、それとも何か変化が見られるのだろうか。

そこで、今回、これまでと同じ内容の調査を3回目として行い、その結果報告と、全3回の結果における時代による変化について報告することにした。

II. 調査方法

今回を含めて、3回の調査方法については以下のとおりである。

＜調査の時期＞ 1回目・・・1986年 8月

2回目・・・1999年 5月

3回目・・・2005年 12月

＜調査対象校＞ 岡山県内のM小学校（3回とも同じ小学校とした）

＜対象学年および人数＞

	5年生		6年生		計
	男子	女子	男子	女子	
1回目（1986年）	26	32	41	33	132
2回目（1999年）	33	32	33	26	124
3回目（2005年）	39	25	15	25	104

＜調査の手続き＞

クラス担任が質問紙を教室で配布し、その場でクラスの児童一斉に記入させた。

＜質問の内容＞

質問の内容は以下の12項目である。

- ①学校外で歌をうたうことはありますか。
- ②学校外で何かの楽器を演奏することはありますか。
- ③家の人と一緒に楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることはありますか。
- ④友だちと音楽の話をすることはありますか。
- ⑤家の人と音楽の話をすることはありますか。

- ⑥音楽会に行くことはありますか。
- ⑦音楽テープやCDを聴くことはありますか。
- ⑧自分の好きな音楽テープやCDを買ったことはありますか。
- ⑨友だちと音楽テープやCDを貸し借りすることはありますか。
- ⑩テレビやラジオの音楽番組を見たり聞いたりすることはありますか。
- ⑪音楽のことがのっている雑誌や本を読むことはありますか。
- ⑫自分で作詞や作曲して音楽を作ったことはありますか。

以上12項目の質問に対して、「よくある」、「ときどきある」、「ほとんどない」の3つの選択肢より、ひとつだけ選んで○をつけてもらった。

Ⅲ. 調査結果

1. 今回の調査結果

1回目・2回目の調査結果については、それぞれ、「小学生の音楽行動に関する研究(1)」³⁾、「子どもの音楽行動の変化」⁴⁾、に記載済みであるため、ここでは省略する。今回(3回目)の調査結果について、学年別・男女別という観点から集計した結果は以下のようになった。

なお、検定においては、学年差の場合には5年生・6年生でまとめた表、男女差の場合には男子・女子でまとめた表を作って行った。カイ2乗検定の結果、危険率5%以下の水準で有意差のあった項目については、各表の下にそれを表示する。

- ①学校外で歌をうたうことがあるかどうかについては、表1-1のような結果となった。

表1-1 学校外で歌をうたう 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5年 男子	4 (10.3)	17 (43.6)	18 (46.2)	39
女子	11 (44.0)	9 (36.0)	5 (20.0)	25
6年 男子	4 (26.7)	7 (46.7)	4 (26.7)	15
女子	11 (44.0)	11 (44.0)	3 (12.0)	25

男女差 p<.005

- ②学校外で何かの楽器を演奏することがあるかどうか

については、表1-2のような結果となった。

表1-2 学校外で楽器演奏する 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5年 男子	1 (2.6)	5 (12.8)	33 (84.6)	39
女子	6 (25.0)	6 (25.0)	12 (50.0)	24
6年 男子	2 (13.3)	6 (40.0)	7 (46.7)	15
女子	12 (48.0)	5 (20.0)	8 (32.0)	25

学年差 p<.05 男女差 p<.001

- ③家の人と一緒に楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることがあるかどうかについては、表1-3のような結果となった。

表1-3 家族と一緒に歌ったり演奏する 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5年 男子	0	1 (2.6)	38 (97.4)	39
女子	1 (4.0)	7 (28.0)	17 (68.0)	25
6年 男子	0	5 (33.3)	10 (66.7)	15
女子	5 (20.0)	7 (28.0)	13 (52.0)	25

学年差 p<.005 男女差 p<.005

- ④友だちと音楽の話をすることがあるかどうかについては、表1-4のような結果となった。

表1-4 友だちと音楽の話をする 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5年 男子	2 (5.1)	16 (41.0)	21 (53.8)	39
女子	8 (32.0)	12 (48.0)	5 (20.0)	25
6年 男子	6 (40.0)	3 (20.0)	6 (40.0)	15
女子	8 (32.0)	13 (52.0)	4 (16.0)	25

男女差 p<.005

- ⑤家の人と音楽の話をすることがあるかどうかについては、表1-5のような結果となった。

表1-5 家族と音楽の話をする 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5年 男子	2 (5.3)	15 (39.5)	21 (55.3)	38
女子	6 (24.0)	12 (48.0)	7 (28.0)	25
6年 男子	5 (33.3)	3 (20.0)	7 (46.7)	15
女子	11 (44.0)	10 (40.0)	4 (16.0)	25

学年差 p<.01 男女差 p<.005

⑥音楽会に行くことがあるかどうかについては、表 1-6 のような結果となった。

表 1-6 音楽会に行く 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	2 (5.1)	10 (25.6)	27 (69.2)	39
女子	1 (4.2)	4 (16.7)	19 (79.2)	24
6 年 男子	1 (6.7)	3 (20.0)	11 (73.3)	15
女子	2 (8.0)	4 (16.0)	19 (76.0)	25

⑦音楽テープや CD を聴くことがあるかどうかについては、表 1-7 のような結果となった。

表 1-7 音楽テープや CD を聴く 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	21 (53.8)	11 (28.2)	7 (17.9)	39
女子	19 (76.0)	5 (20.0)	1 (4.0)	25
6 年 男子	10 (66.7)	3 (20.0)	2 (13.3)	15
女子	22 (88.0)	3 (12.0)	0	25

男女差 $p<.01$

⑧自分の好きな音楽テープや CD を買ったことがあるかどうかについては、表 1-8 のような結果となった。

表 1-8 音楽テープや CD を買う 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	13 (33.3)	6 (15.4)	20 (51.3)	39
女子	12 (52.2)	5 (21.7)	6 (26.1)	23
6 年 男子	7 (46.7)	3 (20.0)	5 (33.3)	15
女子	13 (52.0)	9 (36.0)	3 (12.0)	25

男女差 $p<.02$

⑨友だちと音楽テープや CD を貸し借りすることがあるかどうかについては、表 1-9 のような結果となった。

表 1-9 音楽テープや CD の貸し借りをする 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	2 (5.1)	5 (12.8)	32 (82.1)	39
女子	3 (12.0)	5 (20.0)	17 (68.0)	25
6 年 男子	3 (20.0)	0	12 (80.0)	15
女子	5 (20.0)	5 (20.0)	15 (60.0)	25

⑩テレビやラジオの音楽番組を見たり聞いたりすることがあるかどうかについては、表 1-10 のような結果となった。

表 1-10 音楽番組を見る 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	16 (42.1)	9 (23.7)	13 (34.2)	38
女子	14 (56.0)	7 (28.0)	4 (16.0)	25
6 年 男子	7 (46.7)	5 (33.3)	3 (20.0)	15
女子	17 (68.0)	7 (28.0)	1 (4.0)	25

男女差 $p<.05$

⑪音楽のことがのっている雑誌や本を読むことがあるかどうかについては、表 1-11 のような結果となった。

表 1-11 音楽の本を読む 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	2 (5.1)	12 (30.8)	25 (64.1)	39
女子	4 (16.0)	11 (44.0)	10 (40.0)	25
6 年 男子	2 (13.3)	3 (20.0)	10 (66.7)	15
女子	6 (24.0)	9 (36.0)	10 (40.0)	25

男女差 $p<.05$

⑫自分で作詞や作曲して音楽を作ったことがあるかどうかについては、表 1-12 のような結果となった。

表 1-12 音楽を作る 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
5 年 男子	3 (7.7)	2 (5.1)	34 (87.1)	39
女子	2 (8.0)	7 (28.0)	16 (64.0)	25
6 年 男子	3 (20.0)	2 (13.3)	10 (66.7)	15
女子	1 (4.0)	5 (20.0)	19 (76.0)	25

男女差 $p<.05$

以上のように、今回の調査結果から学年差の見られる項目は、②「学校外で楽器演奏する」、③「家族と一緒に歌ったり演奏する」、⑤「家族と音楽の話をする」の 3 項目だけであった。一方、男女差の見られる項目は 12 項目中 10 項目であることから、ほとんどの音楽行動においては男女差のあることが明らかになった。

2. 時代による音楽行動の変化

これまで 2 回の調査においては、男女間で音楽行動に大きな差が見られた。今回 3 回目も 1. の調査結果から明らかなように、学年差はあまり見られなかったが、男女差は多くの項目において見られた。そこで、

3回の調査における時代による変化を、男女それぞれに分けて示すことにした。

有意差があるかどうかの検定に関しては、Cochran⁵⁾の説に従って行った。有意差のある項目については、表のほかにグラフでも示すことにする。

1) 男子の場合

①学校外で歌をうたうことについては、表2-1のような結果であった。

表2-1 学校外で歌う (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	8 (12.3)	25 (38.5)	32 (49.2)	65
1999年	11 (16.7)	21 (31.8)	34 (51.5)	66
2005年	8 (14.8)	24 (44.4)	22 (40.7)	54

②学校外で何かの楽器を演奏することについては、表2-2のような結果であった。

表2-2 学校外で楽器演奏する (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	2 (3.1)	21 (32.3)	42 (64.6)	65
1999年	0	14 (21.2)	52 (78.8)	66
2005年	3 (5.6)	11 (20.4)	40 (74.1)	54

③家の人と一緒に楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることについては、表2-3のような結果であった。

表2-3 家族と一緒にいる (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	2 (3.0)	9 (13.4)	56 (83.6)	67
1999年	1 (1.5)	6 (9.1)	59 (89.4)	66
2005年	0	6 (11.1)	48 (88.9)	54

④友だちと音楽の話をすることについては、表2-4のような結果であった。

表2-4 友だちと音楽の話をすること (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	7 (10.4)	17 (25.4)	43 (64.2)	67
1999年	3 (4.6)	20 (30.8)	42 (64.6)	65
2005年	8 (14.8)	19 (35.2)	27 (50.0)	54

⑤家の人と音楽の話をすることについては、表2-5のような結果であった。

表2-5 家族と音楽の話をすること (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	4 (6.0)	17 (25.4)	46 (68.7)	67
1999年	2 (3.0)	20 (30.3)	44 (66.7)	66
2005年	7 (13.2)	18 (34.0)	28 (52.8)	53

⑥音楽会に行くことについては、表2-6のような結果であった。

表2-6 音楽会に行く (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	0	4 (6.1)	62 (93.9)	66
1999年	1 (1.5)	9 (13.6)	56 (84.8)	66
2005年	3 (5.6)	13 (24.1)	38 (70.4)	54

⑦音楽テープやCDを聴くことについては、表2-7のような結果であった。

表2-7 音楽テープ・CDを聴く (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	13 (19.4)	35 (52.2)	19 (28.4)	67
1999年	22 (33.3)	23 (34.8)	21 (31.8)	66
2005年	31 (57.4)	14 (25.9)	9 (16.7)	54

p < .001

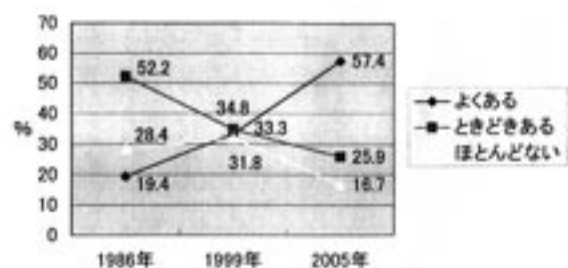


図1 音楽テープ・CDを聴く (男子)

⑧自分の好きな音楽テープやCDを買うことについては、表2-8のような結果であった。

表2-8 音楽テープ・CDを買う (男子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	8 (11.9)	16 (23.9)	43 (64.2)	67
1999年	11 (16.9)	24 (36.9)	30 (46.2)	65
2005年	20 (37.0)	9 (16.7)	25 (46.3)	54

p < .005

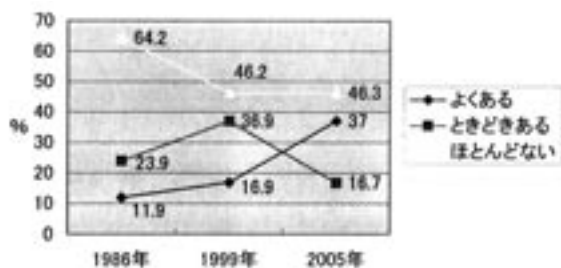


図2 音楽テープ・CDを買う(男子)

⑨友だちと音楽テープやCDを貸し借りすることについては、表2-9のような結果であった。

表2-9 音楽テープ・CDを貸し借りする(男子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	1 (1.5)	3 (4.5)	63 (94.0)	67
1999年	2 (3.0)	5 (7.6)	59 (89.4)	66
2005年	5 (9.3)	5 (9.3)	44 (81.5)	54

⑩テレビやラジオの音楽番組を見たり聞いたりすることについては、表2-10のような結果であった。

表2-10 テレビの音楽番組を見る(男子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	18 (27.3)	20 (30.3)	28 (42.4)	66
1999年	17 (25.8)	25 (37.9)	24 (36.4)	66
2005年	23 (43.4)	14 (26.4)	16 (30.2)	53

⑪音楽のことがのっている雑誌や本を読むことについては、表2-11のような結果であった。

表2-11 音楽の本を読む(男子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	7 (10.4)	7 (10.4)	53 (79.1)	67
1999年	2 (3.1)	12 (18.5)	51 (78.5)	65
2005年	4 (7.4)	15 (27.8)	35 (64.8)	54

⑫自分で作詞や作曲して音楽を作ったことについては、表2-12のような結果であった。

表2-12 音楽を作る(男子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	5 (7.5)	7 (10.4)	55 (82.1)	67
1999年	8 (12.1)	11 (16.7)	47 (71.2)	66
2005年	6 (11.1)	4 (7.4)	44 (81.5)	54

以上のように、男子の場合には多くの項目においては変化は見られなかった。しかし、⑦「音楽テープやCDを聴く」と⑧「自分の好きな音楽テープやCDを買う」のふたつについては、昔よりも現在の方がよく行われているという結果となった。

2) 女子の場合

①学校外で歌をうたうことについては、表3-1のような結果であった。

表3-1 学校外でうたう(女子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	13 (20.0)	35 (53.8)	17 (26.2)	65
1999年	29 (50.0)	24 (41.4)	5 (8.6)	58
2005年	22 (44.0)	20 (40.0)	8 (16.0)	50

p<.005

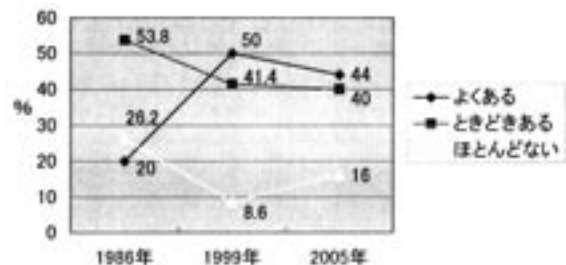


図3 学校外で歌をうたう(女子)

②学校外で何かの楽器を演奏することについては、表3-2のような結果であった。

表3-2 学校外で楽器演奏する(女子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	15 (23.4)	26 (40.6)	23 (35.9)	64
1999年	14 (24.6)	22 (38.6)	21 (30.8)	57
2005年	18 (36.7)	11 (22.4)	20 (40.8)	49

③家の人と一緒に楽器を演奏したり、歌を歌ったりすることについては、表3-3のような結果であった。

表3-3 家族と一緒にいる(女子) 人数(%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	6 (9.4)	16 (25.0)	42 (65.6)	64
1999年	7 (12.1)	14 (24.1)	37 (63.8)	58
2005年	6 (12.0)	14 (28.0)	30 (60.0)	50

④友だちと音楽の話をすることについては、表 3-4 のような結果であった。

表 3-4 友だちと音楽の話をする (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	10 (15.4)	34 (52.3)	21 (33.3)	65
1999 年	24 (41.4)	20 (34.5)	14 (24.1)	58
2005 年	16 (32.0)	25 (50.0)	9 (18.0)	50

⑤家の人と音楽の話をすることについては、表 3-5 のような結果であった。

表 3-5 家族と音楽の話をする (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	13 (20.0)	29 (44.6)	23 (35.4)	65
1999 年	10 (17.2)	32 (55.2)	16 (27.6)	58
2005 年	17 (34.0)	22 (44.0)	11 (22.0)	50

⑥音楽会に行くことについては、表 3-6 のような結果であった。

表 3-6 音楽会に行く (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	3 (4.7)	18 (28.1)	43 (67.2)	64
1999 年	7 (12.3)	14 (24.6)	36 (63.2)	57
2005 年	3 (6.1)	8 (16.3)	38 (77.6)	49

⑦音楽テープや CD を聴くことについては、表 3-7 のような結果であった。

表 3-7 音楽テープ・CD を聴く (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	25 (38.5)	35 (53.8)	5 (7.7)	65
1999 年	39 (67.2)	15 (25.9)	4 (6.9)	58
2005 年	41 (82.0)	8 (16.0)	1 (2.0)	50

p < .001

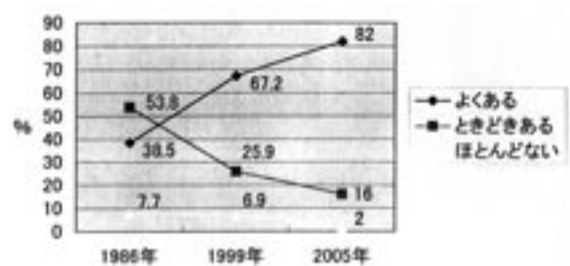


図 4 音楽テープ・CD を聴く (女子)

⑧自分の好きな音楽テープや CD を買うことについては、表 3-8 のような結果であった。

表 3-8 音楽テープ・CD を買う (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	10 (15.4)	24 (36.9)	31 (47.7)	65
1999 年	23 (39.7)	26 (44.8)	9 (15.5)	58
2005 年	25 (51.0)	14 (28.6)	9 (18.4)	48

p < .001

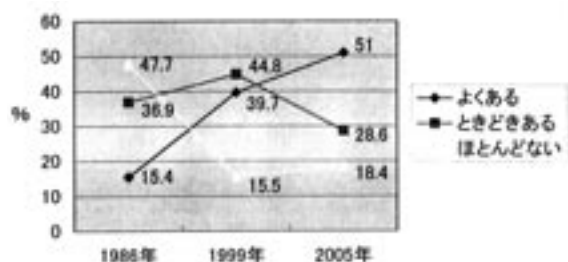


図 5 音楽テープ・CD を買う (女子)

⑨友だちと音楽テープや CD を貸し借りすることについては、表 3-9 のような結果であった。

表 3-9 音楽テープ・CD を貸し借りする (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	1 (1.5)	7 (10.8)	57 (87.7)	65
1999 年	8 (13.8)	13 (22.4)	37 (63.8)	58
2005 年	8 (16.0)	10 (20.0)	32 (64.0)	50

⑩テレビやラジオの音楽番組を見たり聞いたりすることについては、表 3-10 のような結果であった。

表 3-10 テレビの音楽番組を見る (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	33 (51.6)	24 (37.5)	7 (10.9)	64
1999 年	29 (50.0)	27 (46.6)	2 (3.4)	58
2005 年	31 (62.0)	14 (28.0)	5 (10.0)	50

⑪音楽のことがのっている雑誌や本を読むことについては、表 3-11 のような結果であった。

表 3-11 音楽の本を読む (女子) 人数 (%)

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986 年	16 (24.6)	21 (32.3)	28 (43.1)	65
1999 年	12 (20.7)	29 (50.0)	17 (29.3)	58
2005 年	10 (20.0)	20 (40.0)	20 (40.0)	50

⑫自分で作詞や作曲して音楽を作ったことについては、表3-12のような結果であった。

表3-12 音楽を作る（女子） 人数（％）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	計
1986年	4 (6.3)	10 (15.6)	50 (78.1)	64
1999年	12 (20.7)	18 (31.0)	28 (48.3)	58
2005年	3 (6.0)	12 (24.0)	35 (70.0)	50

以上のように、女子の場合には、①「学校外で歌をうたう」と⑦「音楽テープやCDを聴く」、⑧「自分の好きな音楽テープやCDを買う」という3つの行動において、昔よりも現在の方がよく行われているということが明らかになった。

IV. まとめ

小学校5・6年生の音楽行動について、3回の調査を行った結果は次のようであった。

- 1) 今回（3回目）の調査では、「学校外で楽器演奏する」、「家族と一緒に歌ったり演奏する」、「家族と音楽の話をする」について、5年生と6年生の学年差が見られ、3項目ともに5年生よりも6年生の方がよく行っていることがわかった。
- 2) 今回（3回目）の調査における男女差は12項目中10項目にわたっており、男子よりも女子の方が全般的に活発な行動であることがわかった。男女差の見られないのは、「音楽会に行く」と「音楽テープやCDを貸し借りする」の2項目だった。
- 3) 時代による変化を男女別に見た結果、「音楽テープやCDを聴く」と「自分の好きな音楽テープやCDを買う」の2項目については、男女ともに現在の方が昔よりもよく行われていた。さらに、女子では「学校外で歌をうたう」ことも現在の方がよく行われていることが明らかとなった。

以上から、3回の調査のどの時代においても、男女差があり、男子よりも女子の方が音楽行動は活発に行う傾向にあることが明らかになった。また、現在の5・6年生はテレビやラジオから流れてくる音楽を聴くだけでなく、自分の好きな音楽テープやCDを聴いたり買ったりする行動が男女ともに増えている。この

ことは、音楽を受動的に聴くのではなく、自分の意志で曲を選んだり買ったりして聴くという、より積極的な聴き方をする子どもが増えているといえるのではないかと考えられる。女子については、学校外で歌をうたうことも昔よりも増えており、このようなことから、現代では若者の音楽文化が小学生にまで下りてきているといってもよいのではないだろうか。

<註および参考文献>

- 1) 杉山知子 小学生の音楽行動に関する研究（1）
美作女子大学紀要 Vol.32 1987 pp.28-35
- 2) 杉山知子 子どもの音楽行動の変化 教育学研究紀要第45巻 1999 pp.308-312
- 3) 杉山 前掲書1)
- 4) 杉山 前掲書2)
- 5) Cochran, W.G. (1954) Some methods for strengthening the common χ^2 tests. Bcs, 10, 417-451.